

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 16 年3月19日作成 )

委員会名	設備管理指針検討 WG	主 査 名：永峯 章
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 ( 建築設備小委員会 )	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2 0 0 3 年 4 月 ~ 2 0 0 5 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建物管理規準と設備管理規準の枠組みを総合的に検討する。 アカデミックスタンダード化の検討。 2 0 0 3 年度：設備管理規準の解説の検討。 2 0 0 4 年度：アカデミックスタンダード化の検討。	
委員構成 (委員名(所属))	主査 永峯 章 (東洋大学) 幹事 前川甲陽 (日本環境管理学会) 委員 鎌田元康 (東京大学)                      八木澤政幸 三機工業 田中毅弘 (関東学院大学)                      小松正佳 (株)NTT 中島康孝 (早稲田大学)                      関口正男 (前橋工科大学) 我孫子義彦 (株)ジェス                      吉田あきら (共生健康環境研究同人) 石福 昭 (建築設備総合協会)	
設置 WG (WG 名：目的)	設備管理指針検討 WG：建物管理ガイドラインの設備管理規準の作成	
2003 年度予算	8 0 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	概ね 1 , 5 ヶ月に 1 回のペースで合同委員会が開催され、 常に 1 0 人程度の委員で意見が交わされた。
得られた成果	( 成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無 )  2 0 0 3 年度では、オーナー (所有者) により理解してもらえるように建物管理 ガイドラインをとりまとめるとともに、「設備管理規準」をアカデミック・スタ ンダードを作る学会全体の動きにあわせて、環境工学委員会のアカデミック・ス タンダード WG で検討し、設備管理規準案をとりまとめた。
目標の達成度	( 当初の活動計画と得られた成果との関係 )  建物管理ガイドラインの建物管理規準と設備管理規準を建築経済小委員会の建 物管理指針検討 WG と合同で検討してきた。今年度は建物の清掃管理規準につい て新たに、建物管理規準の中に含めることができた。 建物管理ガイドラインが概ね完成されたことになり、研究協議会への提案も視野 にいれている。
その他評価すべき 事項	